

会議開催結果

1 会議の名称	第1回砥部町介護保険事業計画策定委員会
2 開催日時	令和7年3月12日(水)午後7時から午後8時25分
3 開催場所	砥部町役場 大会議室
4 議題	<p>議題</p> <p>1 高齢者福祉計画及び第9期介護保険計画の進捗状況について 2 地域密着型サービスの利用状況について 3 地域包括支援センターの運営状況について 4 成年後見制度利用促進計画における指標の見直しと進捗状況について 5 その他</p>
5 出席者名	<p>【出席委員】田中昭子・楮本大輔・篠森華奈・安岡英哉 ・西岡真由美・成瀬亮太・佐川正子・荒谷英彦</p> <p>【欠席委員】中城有喜・大野啓子 (8名出席)</p> <p>【事務局】白形大伸(介護福祉課長) 佐々木毅(介護福祉課長補佐) 西山三保(介護福祉課長補佐) 真鍋ゆかり(介護福祉課地域包括支援センター係長) 宮田裕介(介護福祉課主任) 仲田鹿入(介護福祉課高齢者福祉係長) 福岡健一(介護福祉課介護保険係長)</p>
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の別	—
8 傍聴人数	0人
9 所管課	砥部町介護福祉課 電話 962-7255

第3回砥部町介護保険事業計画等策定委員会 会議録

発言者	発言内容
事務局	開会宣言
会長	会長あいさつ 議事録署名人選出 議題
事務局	策定委員会設置条例では、第5条に策定委員会の会議は、会長が招集し議長となるとなっております。これからのお進行を田中会長にお願いいたします。
議長	議題1 高齢者福祉計画及び第9期介護保険計画の進捗状況についての説明を事務局よりお願いいたします。
事務局	資料1-1 高齢者福祉計画及び第9期介護保険計画の進捗状況についてを眞鍋係長・仲田係長・福岡係長が説明する。
議長	ありがとうございました。ただいま説明がありましたが、委員の皆さんからご意見やご質問はございますでしょうか。
委員	とべ「ホット」けれど事業とか色々な事業をされていると思いますが、利用者数はどのような感じでしょうか。肌感覚的には、もっと困っている方が多いのかなという気はしています。地域の抱えているニーズに対して供給は満たされているものなのか、また、実施している事業の情報が伝わっていないとか、どうでしょうか。
事務局	需要に対して供給側の数が足りていないと感じています。タイムリーに今来て欲しいっていうところの声に対して応えられるだけの支援が整っていないと思っていて、本当はそこを叶えてあげたいんですけど、なかなか支援が増えない。働く高齢者が増えてきているし、シルバーさんも伸び悩んでいます。そのためアクティブシニアボランティア養成講座と銘打ってやっていくんですが、そちらがちょっと（実績があがっていない）と感じています。
委員	困っているという声はもっとあるということですね。
事務局	実際にあります。なので、後で説明する生活支援体制整備事業になりますが、地区の中で完結できたらいいなと思っていた、地区の中にお助け隊みたいのがあるところは、地区の中で「助けて」「助けるよ」みたいな関係ができるで、そういうのが、ここに載せなくても完結していくような地域ができるらしいなと思っていて、事業同士を連動させてとは考えてはいるところです。
委員	純粋に地域の力でそういうことをやっているところがあるということですね。似たようなことになるかもしれません、フレイルの方とか、チエッ

	クリストを使って、いろんなピックアップをされて、色々な取組をされていますが、そういうところに出て来られる人は良いと思うんですけど、声掛けするけれども、なかなか出て来られない方とか、そういったグレーの人たちへのアプローチだったり、反応だったりというのは。
事務局	民生委員さんのお力がすごいあって、そういう方を民生委員さんがここがあるよとか、区の中だったらここがあるよって、区で行きにくかったら校区におけるカフェですとか、つないでくださっていて、キャッチしたら社協さんだったり包括だったりで、個別支援という流れはできているんですけど、そのポピュレーションというところでとなるとなかなかつながりにくいというのはあります。
委員	周りでも年を重ねて、認知機能的に落ちてきて、以前は外によく出てきたけど、今は家の中に居てとか、そういう方を引っ張り出すというか、外に出る機会がもっとあつたら全然いいんだろうなと思っても、なかなか家族がそういうふうに伝えて、そういう方ってどうしても「私はそんなことない。」みたいな感じになっちゃうので、介護予防とかいう言い方でなくて、健康みたいな、ちょっとプラスのイメージで言つたら違うんだろうなと思いながら、なかなか自分の家族とか身内でもなかなか言いづらかったりしますよね。
事務局	特に女性は出てきてくれやすかつたりするんですけど、男性がどうにもならなくなつて介護保険申請してみたいなことになっているので、より早い段階でキャッチできたらなとは思っております。
議長	実地指導についてですが、今年4カ所ということで、毎年4カ所ずつくらい行かれているのかなと思うのですが、希望をされた事業所に対して実地指導を行うのでしょうか。
事務局	砥部町が指定している居宅介護支援事業所6か所、グループホーム（認知症対応型共同生活介護事業所）5か所、小規模多機能型居宅介護事業所3か所について実地指導を行っています。それぞれ指定期間は6年と決まっていますので、6年に1回は必ず実地指導をしていまして、希望があったところというわけではなく、順番に回っている状況です。
委員	避難行動要支援登録者とかの話が出ていたと思うんですけど、避難行動の要配慮を必要な方々のピックアップ自体はできているのでしょうか。地域の高齢の方だけでなく、障がいの方とか医療的ケア児とか、いろんな方々がおられると思うんですけど、そういう方のピックアップというか、どこに、どんな人がいるのかっていうのは把握されているのでしょうか。
事務局	避難行動の要支援者のうちで、災害時に避難支援を希望する人を、同意者名簿に登録して、避難支援等関係者に同意者名簿を提供して、情報共有して、災害があったときに安否確認、避難誘導などをするような制度ですけど、砥部町としては、高齢者単独世帯、寝たきり高齢者、一人暮らしの障がい者、障がい者のみの世帯、高齢者と障がい者のみの世帯、難病患者、それらに準じるような方で自ら支援を希望する人を対象にして、（避難支援を）希望すると同意を得られた人について、その名簿をいろんな支援者にお渡して、避難時に対応していただくようにしています。今後、個別の避難計画というのをそれぞれ作っていくようになりますが、今のところは、避難名簿への登録申請書で、ある程度内容は満たしているんですけど、まだ避難経路等を決められないので、それを今後決めていくという動きはあります。それプラス、

	対象になる方が大体 2,800 人ぐらい砥部町にはいらっしゃるんですけど、今、同意を得られてない方についても順次優先度の高い方から個別避難計画を作っていくことと、来年度から動き出す予定です。
委員	2,800 人もいるんですね。
事務局	2,810 人の避難行動要支援者がいらっしゃいます。そのうち、名簿を支援者に出て良いよという人が 250 人ほどしかないので、他の人たちについても、個別避難計画を作り、何かがあつたらスムーズに避難できるように対応していかないといけないということで、来年度からは個別避難計画の作成を進めていくようにしています。
委員	支援してくださる方々も決まっているんですか。
事務局	決まってないです。まず探してもらったりして、それでも探せない場合には、民生委員さんにお願いしたりとかはあるんですけど。
委員	ご本人が（支援者を）探すものなんですか、それとも（支援者を）探してくださったりするんですか。
事務局	ご本人さんに（支援者を）探してもらうということになりますね。（ご本人さんが支援者を探しても）いないということであれば、民生委員さんにお願いしたりということになるんですけど。
委員	結構、他のところでもそういう話があって、登録制度は作ったけど、自分で（支援者を）探さないといけない。でもやっぱり自分達で（支援者を）探すってなかなかハードルが高い。結局、制度はあるけど、なかなか実際の有事が起つた際、難しいみたいな話を聞いたことがある。
事務局	（支援者が）民生委員さんばかりとなると、民生委員さんが何人も支援することになるので、何かが起つた時に、いっぺんに動くことができない部分があるので、いろんな人にお願いして、（支援）してもらわないと、避難がスムーズにできないので、そこは考えていく必要があります。
委員	これも本当に何か地域の力で出来たら一番いいですね。自分も災害にちょっと関わることがあって、実際に避難ができたところは、結構シミュレーションしているところが多いなっていう印象で、実際、熊本地震の 1 年前に、地元の中で障がいの方、人工呼吸器ついている方とかの避難をシミュレーションしていたらしくて、その熊本地震があつたときに本当に一気に動いた。西日本豪雨ときもどこかの市で、玄関先に「誰が、どういう人がおるよ、逃げたよ」って印を付けるようにしていて、被害者がゼロだったとか。実際、（砥部町の避難行動要支援者が）2,810 人もおられたら、一人一人は難しいと思うんですけど、実践的な避難訓練みたいな取組っていうのが今大事なんだろうなって凄く肌感覚で感じています。
議長	よろしいでしょうか。以上で議題（1）についての審議は終わらせていただきたいと思います。
事務局	資料 1-2 令和 6 年度要介護等認定者数、介護給付費の進捗についてを福岡係長が説明する。

議長	資料 1-2 についても何かご質問はありますでしょうか。 (質問や意見なし)
	では、次の議題に移ります。議題 (2) 地域密着型サービスの利用状況についての説明をお願いします。
事務局	地域密着型サービス事業所利用者状況を福岡係長が説明する。
議長	ありがとうございました。少し余裕があるということでしたが、ご質問はありませんでしょうか。 (質問や意見なし)
	よろしければ、議題 (3) 地域包括支援センターの運営状況についての説明をお願いします。
事務局	資料 3-1 令和 5 年度地域包括支援センター事業運営状況、資料 3-2 令和 5 年度保険事業勘定地域支援事業決算、資料 3-3 令和 7 年度地域支援事業歳出予算額（当初）を西山補佐が説明する。
議長	ありがとうございました。ただいまの説明について、何かご質問ございませんでしょうか。
委員	最初の 3-2 の地域支援事業決算のところで保険者機能推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金ですが、何年か前にこれらの交付金のことを聞いて、いわゆるインセンティブの交付金ということで、厚労省のホームページを見たら、色々な地域の活用事例があって、地域特性・ニーズに応じて取組をされている。砥部町では、そういう取組や計画はあったりするのでしょうか。
事務局	令和 6 年度については、取組はなかったんですけども、令和 7 年度につきましては、介護予防事業の一環として、ヒアリングフレイル（耳の聴こえのフレイル予防事業）を取り組んでいきたいと考えております。ヒアリングフレイル予防の普及啓発だったり、相談会だったり、あと補聴器の補助事業というところを合わせて事業を予定しております。その事業に保険者機能推進交付金（インセンティブ交付金）を利用予定としています。
委員	令和 4 年度でいったら、国の予算としては 400 億円ぐらいいろいろ。都道府県が 20 億円、そその他の自治体に残りの 380 億円がついている。交付金をもらうにあたって、いろんな評価があって、計算されているのだと思うんですけど、（砥部町として）これぐらいのものなのか、こういう取組したらもっともらえるんじやなかろうか、そんなのってあったりするんでしょうか。
事務局	砥部町は万遍なく取り組んで、ここに挙げている枠は決して少なくはないと思っているんですけども、また努力の余地はあるかなっていうところで実施しております。
委員	（インセンティブ交付金は）人件費を含めて、いろんな事業に使えるので、先ほど言わされたような事業とか、それぞれの地域の中で（厚労省のホームページに列挙されているような）事例とかがあれば、どんどん使っていいよみたいな話をちょっと聞いて、行政の中でそういうインセンティブっていう考え方方が新鮮だったので、どうなのかなと思って、お訊きました。ありがと

	うございます。
議長	介護予防教室や認知症対応に関する取組の人数が徐々に増えている要因はどういったところにあるのでしょうか。
事務局	令和6年度は100歳体操と合わせて、タブレットを使って脳の元気度の測定とをしました。光ったところを押したり、何秒で（目標物）に行ったり等（のテスト）をさせていただいて、脳の元気度の見える化をしました。それに一体的実施事業で、65歳以上の認知症リスクのある糖尿病、高血圧の有病者1,000人強を抽出し、その方々に案内通知するとその若い方が興味を持って、参加してくださったっていうところで、参加人数が伸びたのかなと思っています。
委員	資料3-1の7ページ、地域ケア会議推進事業の検討事例から見えてきた地域課題の宮内区のところで、この表現を初めて聞いたのですが、旧住民と新住民の定義づけを教えてほしい。
事務局	元々砥部町に暮らされている方と転入されてきて砥部町に住むようになった方っていう意味合いなんですけれども。
委員	元々というのは生まれ育ったってことですか。
事務局	そうですね。旧住民は元々砥部で生まれ育って、そのまま砥部町にいらっしゃる方です。
委員	生まれて出て行って帰ってきた方は。
事務局	新住民は新たに家を建てて転入してきた方という意味合いで。砥部町の場合は、30年たっても40年たっても新住民だって言われるっていう意見も聞きますので、その辺の定義は曖昧なところはあるんですけども。
議長	他にないでしょうか。 (質問や意見なし) ないようでしたら、次の議題(4)の成年後見制度利用促進計画における指標の見直しと進捗状況についての説明をお願いします。
事務局	成年後見人制度利用促進の活動報告を宮田主任が説明する。
議長	ありがとうございました。先ほどのご説明に関して、ご意見やご質問等はございませんでしょうか。住民アンケートによる制度の理解度について、障がい者は実績値が上がっている要因や考えられることは何かありますでしょうか。
事務局	具体的な要因っていうところまでは、ちょっと分析ができるではないんですけども、調査する母体が無作為になってくるので、少し誤差は出てるのかなというところはあるんですが、そういった（成年後見制度への）関心も増えてる現状も考えられるので、今後も普及啓発というところはやっていきたいなと思っております。

議長	今後も普及啓発を図るということで。議題のほうは、これで終わりになるのですが、その他ありますでしょうか。
事務局	今まで介護保険計画等策定委員会の委員の皆様に、地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会における委員も併せてお願ひしておりましたが、事務局側の都合により、現在は委嘱状が交付されていない状況になっております。つきましては、本日ご参加の9期計画等策定委員の皆様に、残りの任期期間1年とはなるんすけれども、委嘱させていただきたいと考えております。改めて運営協議会委員の承諾に係る確認書を郵送でお送りしたいと思っておりますので、記入していただいて、ご返信をいただけたらと思います。その後、委嘱状を正式に交付させていただきたいと考えております。申し訳ないのですが、了承していただいても構いませんでしょうか。
委員	了承（はいとの返事や頷く等あり。）
議長	議題はこれで終了いたします。事務局にお返しします。
事務局	田中会長、進行の方ありがとうございました。委員さんからお知らせ等はありませんでしょうか。事務局からですが、今回の報告では、6年度の決算見込みや5年度の決算であったりとバラバラで混乱してしまったところもあったと思います。自治体の場合ですと、5月31日が出納閉鎖ということで、5月31日にその年度の決算が決まります。そのため、今後は決算が終わった早い時期に、計画の進捗と包括の活動について、決算時期を合わせて報告させていただけたらと考えております。
事務局	閉会宣言